

引佐「横尾歌舞伎」で主役 ダンスと演劇の二刀流大学生

佐野 菜子さん 19

浜松市北区引佐町で二百年以上伝承される「横尾歌舞伎」。今秋公演の最終演目で主役を務めた。同保存会による「神霊矢口渡 頓兵衛住家の場」で演じたのは、渡守頓兵衛の娘お舟。人形を模す難しい所作も演じきった。

「実は公演の二週前から体



芸術で街おこしを

おはよう:

調を崩していた。でも、舞台本番が大好き。満員のお客さんを見て、気持ちがいっぱいになりました」

兄と姉が歌舞伎少年団で演じるのに憧れ、井伊谷小二年のときから舞台に立ってきただ。その初舞台で、「『よお、頑張れ』の声援がうれしくて」演技にのめり込んだ。浜松市立高では演劇部に属し、今春進学した静岡文化芸術大（中区）では文化政策学部芸術文化学科でアートマネジメントなどを専攻。「将来は芸術を生かした街おこしをしてみたい」と夢を描く。大学のサークル活動は、演劇とダンスの二刀流。十一月上旬の大学祭は、ダンスで観客を魅了する。浜松市北区。（武藤康弘）

2018.10.27

中日新聞（朝刊）